

Top Commitment

トップコミットメント



岡藤正広

代表取締役社長

岡藤 正広

商いの先に広がる豊かさを提供し、 持続的発展の道筋を切り拓く

果たすべき「無数の使命」

伊藤忠商事は、2014年、コーポレートメッセージ「ひとりの商人、無数の使命」を定めました。当社は初代の伊藤忠兵衛が創業して以来、近江商人の哲学である「三方よし（売り手よし、買い手よし、世間よし）」の精神を継承し、ビジネスの場で常に実践してきました。変化する社会からの要請に応え、自社の利益だけではなく、商いの先に広がる豊かさを提供することが、当社が果たすべき「使命」であり、会社の存続のためには不可欠です。このような想いと、当社の最大の経営資源である人材の「個の力」をわかりやすい言葉に凝縮したものがこのコーポレートメッセージです。これは当社の企業理念である「豊かさを担う責任」を紐解き、伊藤忠商事の存在意義を広く社会に伝える当社から社会への約束の言葉でもあります。総合商社とは、実際に何をやっているかわかりにくい一面もあるかと思いますが、2014年度は、このコーポレートメッセージを社内外に浸透させるため、テレビCMをはじめとする各種メディアを通じて広く発信しました。また、この考え方の確実な実践を国際社会に表明する意味を込めて、国連グローバルコンパクトに2009年から参加しています。

持続的発展への道筋

新中期経営計画を発表し、当社は今新たな成長ステージを迎えています。CITIC 及び CP との業務・資本提携によって中国・アジアにおける収益基盤を拡大するにあたり、社会に与える影響は多様化し、リスクの幅も広がっていくでしょう。広域化・複雑化したバリューチェーン上には、当社グループが間接的に環境破壊や人権侵害の原因となってしまうリスクが常に潜んでおり、このような企業価値の毀損に繋がりが得るリスクを回避するよう、多面的にモニタリングできる体制を整えています。また、リスクの管理のみならず、総合商社として培ってきた経営基盤を活用し、事業を通じて社会的課題を解決することも重要です。これらのリスクへの備えと、機会の創出により、社会やお客様からの信頼は確かなものとなり、当社の事業の発展へとつながっていくと考えています。自らの任期中だけを考えて利益を最大化することは、難しいことではありません。しかし、それでは将来の世代や地球環境に重荷を残すこととなります。私は、ブランドを基点に新たなビジネスモデルを作り上げていった繊維カンパニー時代も、目先の利益のみに捉われず、長期的に持続可能な果実を得ることができる仕組み作りが重要だと考えていました。現在も、世界中で多様な事業を展開する総合商社だからこそ、商いの先に広がる豊かさを追求し、持続可能な事業活動を行うことにより、社会課題を解決することこそが我々の使命だと考えています。

「個」の強さを最大限に引き出す

当社の最大の経営資源は人材です。一人ひとりの社員の積み重ねが、伊藤忠グループの安定的・継続的な成長を支えています。いかに事業規模が拡大し、事業のフィールドがグローバルに広がろうとも、当社の社員は、お客様視点、現場主義を徹底する「商人」であり続けねばならないというのが、私の考えです。当社は「野武士集団」とよく評されるように、自由闊達な風土のもと、個人の強さと個性を活かす伝統を受け継いできました。強い「個」こそ、今後も当社に求められる人材であり、そのために「個」の能力を最大限に発揮させる施策を強力に推進していきます。

成長のその先を見つめ、果敢に続ける挑戦

当社が150年以上に亘り発展できたのは、「三方よし」の精神を受け継ぎ、社会との共通価値を事業活動の根幹に据えてきたからです。ひとたび慢心する気持ちが生じれば、企業は坂道を下るように一気に衰退していくため、社員一人ひとりが、挑戦者としての意識を常に持ち、法令遵守はもちろんのこと、腐敗防止に対する毅然とした姿勢を含みコンプライアンスを徹底していくことも必要です。

新たな成長ステージを迎えた今こそ、決して慢心することなく、世界中の社員一人ひとりが「商人魂」を原点に据えながら、売り手にも、買い手にも、世間にも、より善い商いをめざし、社会に対して「無数の使命」を果たしていくことで、伊藤忠商事の持続的発展の道筋を切り拓いていきます。成長のその先を見つめて、これからも果敢な挑戦を続けます。